

カトリック六甲教会の宝物

神戸市灘区赤松町 3-1-21 TEL078-851-2846

★ 鐘楼の鐘 ★

六甲教会の宝物の一つに「鐘楼の鐘」があります。

カトリック六甲教会には鐘楼が一際高く聳え立ち、一定の時間になるときれいな音を鳴り響かせ六甲界隈の名物となっています。

しかし、この鐘楼が完成するまでには、当時のブラウン主任司祭始め、信徒の並々ならぬ努力と奉仕がありました。



大きい鐘は「聖ヨセフ」
小さい鐘は「聖フランシスコ・ザビエル」と名付けられた。

最初、旧聖堂が完成した時には鐘楼がありませんでした。建設する資金がなかったからです。何とか鐘楼を建てたいという信徒の願望が強く、それから寄付やバザーなどで建設資金を捻出し、旧聖堂完成2年半後に聖堂入口の横に建ちました。しかし、まだ肝心の鐘が付いていません。それから半年後、ブラウン神父によってドイツから取り寄せられた2つの鐘がやっと取り付けられ、鐘の祝別式が故田口大阪教区大司教によって行われました。

現在、聖堂は新聖堂に代わりましたが、鐘楼だけはそのまま残され、教会入口の門の右手にあります。阪神淡路大震災の時には、復興と被災者への鎮魂を込め、ベルギーアントワープ市民からマリア像が寄贈され、現在、鐘楼通路側内に収められています。



1954. 5. 3 初代聖堂完成したが、鐘楼はついていない。



建設中の鐘楼



1957. 12. 8 鐘楼完成



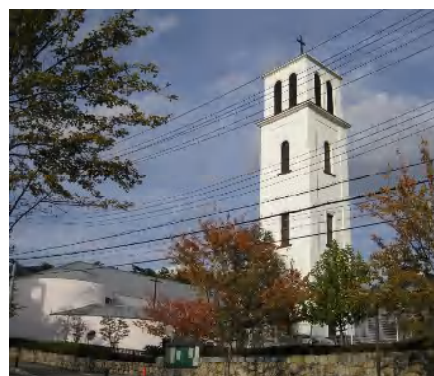
1958年6月22日 鐘洗礼式 (ヤコブス師、田口司教、フリン師)

1958. 6. 22

田口大阪教区大司教による鐘の祝別式。



聖マリア像



現在の新聖堂と鐘楼